



“地域のことは地域で考えよう”

2014年2月27日

おきぎん県内景況・速報 2014年1月

—県内景況は、拡大の動きが強まる—
2013年9月から5ヵ月連続

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。
観光施設入場者数は前年同月を上回る。

■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年1月分)

◎2014年1月 おきぎん「カトリア」景況図



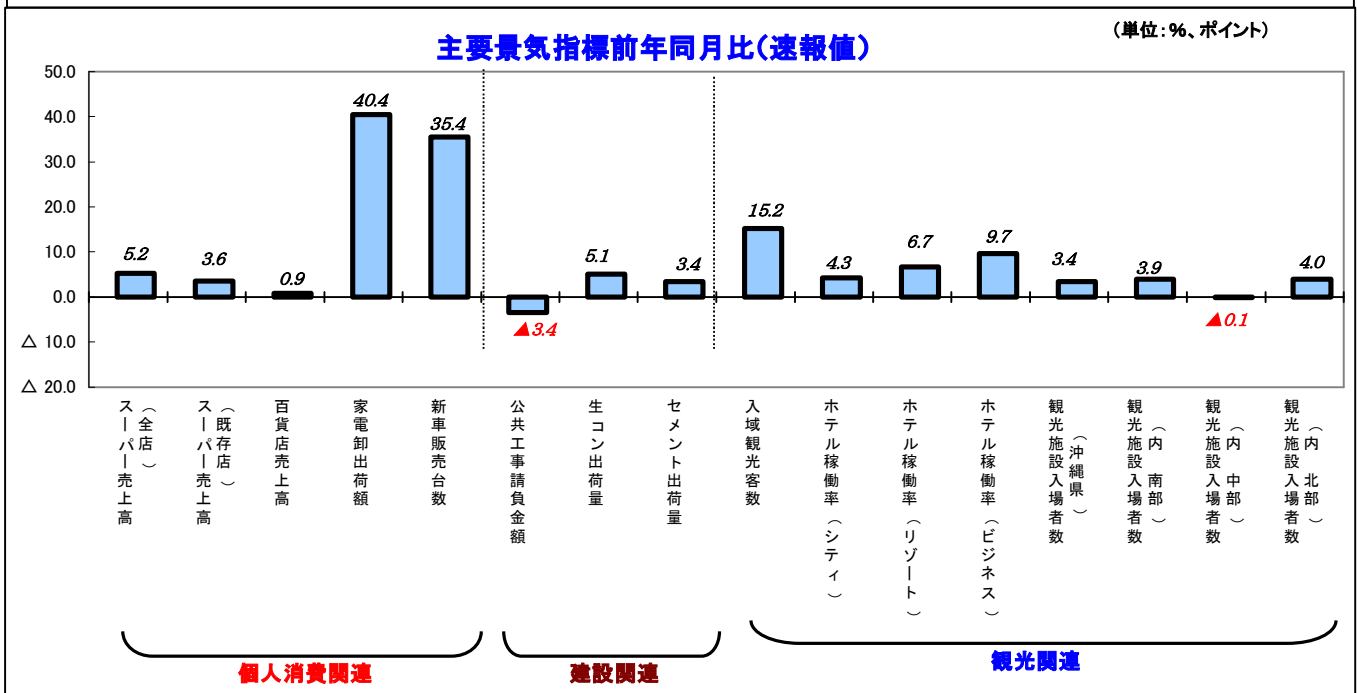
◎概況：県内景況は、拡大の動きが強まる。

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要や消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、前年にあった市町村発注による大型工事の反動などにより前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は16ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、先月に引き続き、「県内景況は拡大の動きが強まる」と景気判断を据え置きました。(2013年9月から5ヵ月連続)





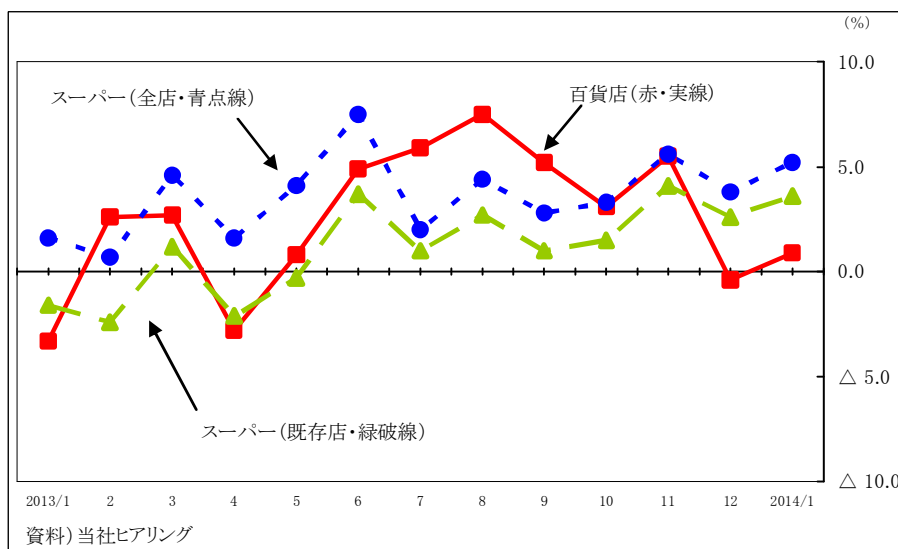
■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9

注) 前年同月比



1月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 5.2%増)」が18ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 5.6%増)」、「衣料品(同 0.5%増)」、「家庭用品(同 5.4%増)」が前年同月を上回りました。

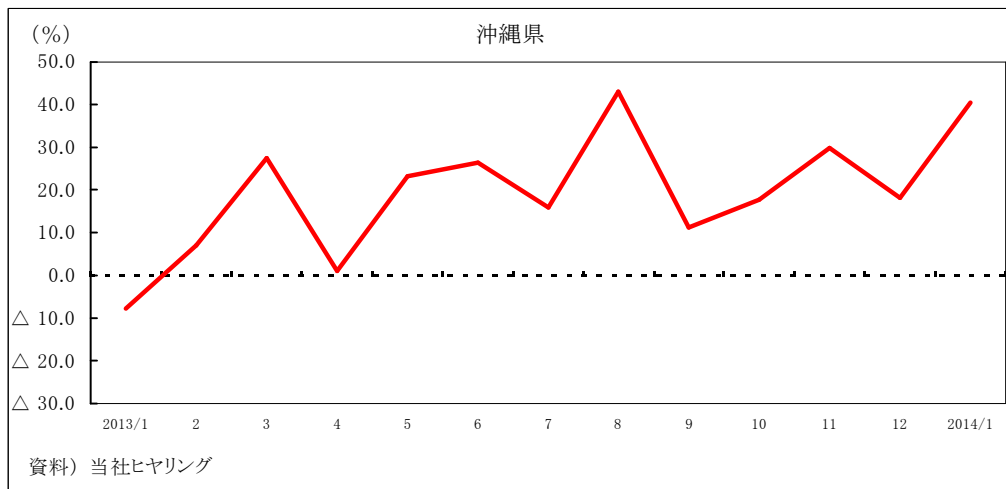
「既存店ベース(同 3.6%増)」では8ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 3.7%増)」は、青果物(野菜・果物など)の相場高により売上高が増加したほか、旧正月(旧暦1月1日)の時期が昨年(平成25年2月10日)よりも今年(平成26年1月31日)は早く、需要が1月に前倒しとなったことから前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 5.1%増)」はエアコンや冷蔵庫、洗濯機などの白物家電の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 0.7%減)」は、年末の気温低下により需要が12月に集中したことなどから、1月は冬物衣料の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、衣料品や身の回り品の売れ行きが好調で、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 0.9%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 1.5%増)」は、新規セールスの開催や食料品催事の集客効果などにより、主力商品の「婦人服(同 2.8%増)」や「紳士服(同 3.4%増)」の売上が増加し、前年同月を上回りました。「身の回り品(同 3.2%増)」は、販売促進活動(セールス広告強化等)が奏功したことから前年同月を上回ったほか、「雑貨(同 1.3%増)」も、新規イベントの集客効果により化粧品などの売上が増加し、前年同月を上回りました。「食料品(同 0.3%増)」は、新規食料品催事の開催などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要や消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位:%

	沖縄県
2013/1	△ 7.8
2	7.0
3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4



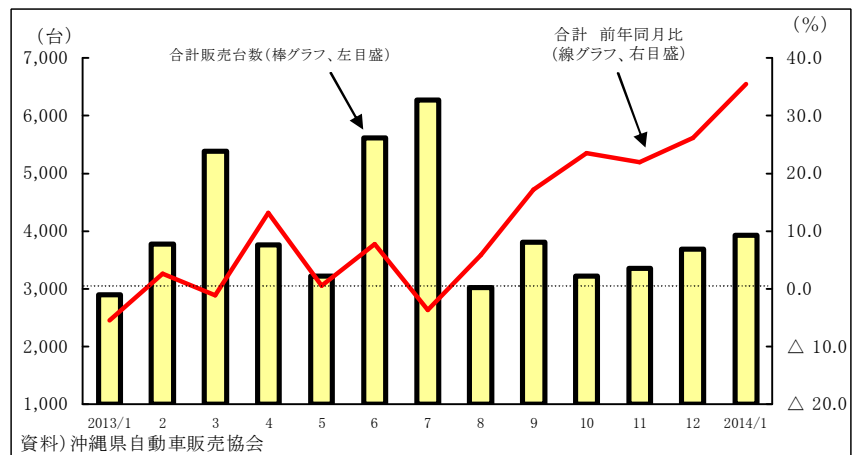
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、12 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 40.4%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 70.4%増)」は、2012 年 7 月 1 日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 32.5%増)」は、新築物件向け(アパート、ホテル、住宅等)の需要が増加していることなどから、前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011 年 7 月 24 日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 65.4%増)」も 6 ヶ月連続で前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同 59.3%増)」や「洗濯機(同 28.0%増)」も家電量販店などにおいて在庫確保の動きが活発化していることから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要や消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位:台,%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

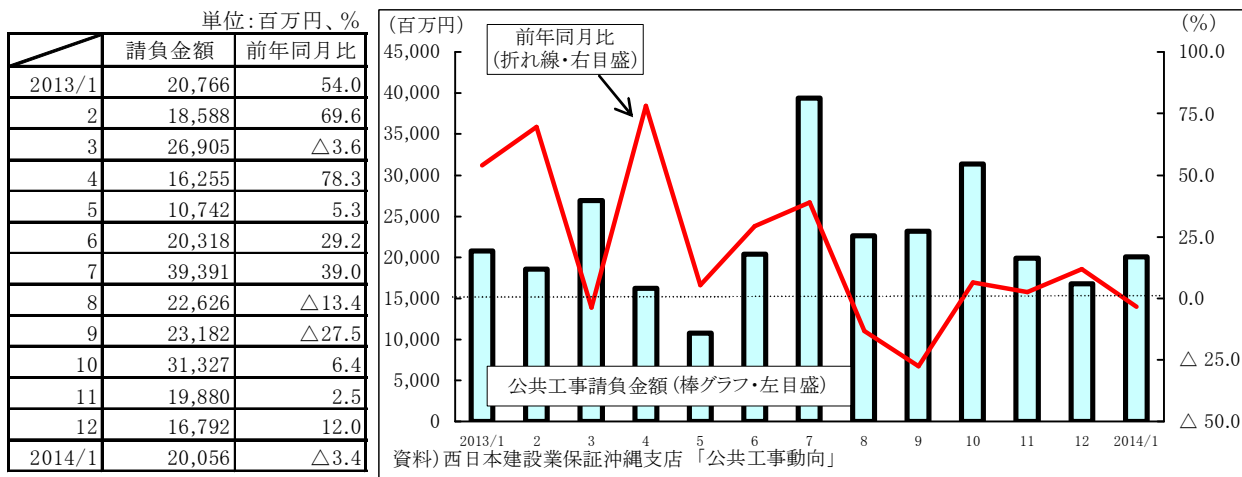
新車販売台数は、全体で 3,929 台となり、6 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 35.4%増)。レンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要が好調に推移したほか、消費税増税前の駆け込み需要も加わり、前年同月を上回りました。車種別でみると、「普通乗用車(同 54.4%増)」が 5 ヶ月連続、「小型乗用車(同 61.6%増)」が 6 ヶ月連続、「軽乗用車(同 24.4%増)」も 6 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連: (良い)

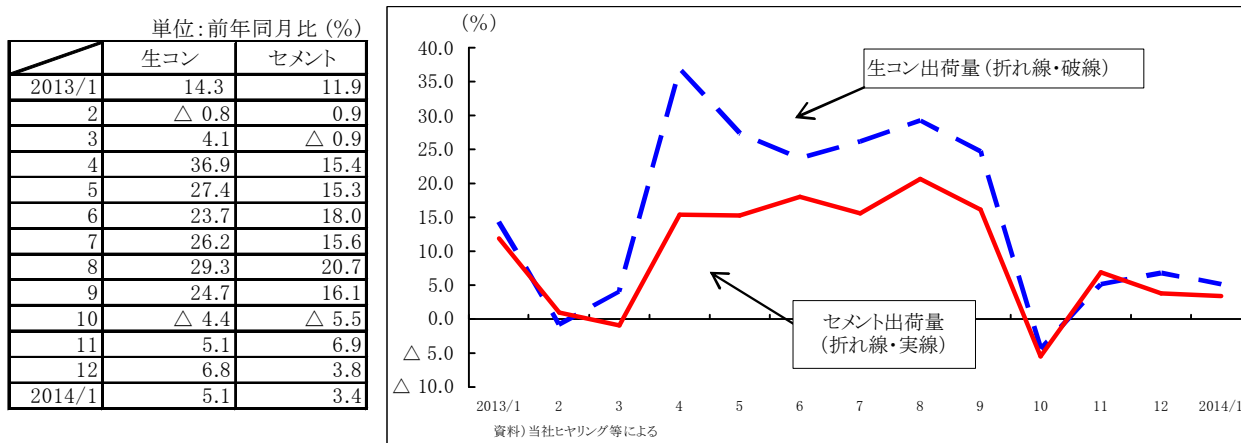
①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



1月の公共工事請負金額は、前年同月比3.4%減の200億5,600万円となりました(4ヵ月ぶり減)。

発注者別でみると、「国(同2.0%増)」は那覇空港滑走路関連工事、「独立行政法人等(約5.9倍)」は県内国立大学関連工事、「沖縄県(同18.2%増)」は国際物流拠点施設新築工事、「その他の公共的団体(同204.8%増)」は八重瀬町でのし尿処理施設更新工事の大型工事などにより前年同月を上回りました。一方、「市町村(同49.2%減)」は前年の那覇市内市営住宅関連工事の反動などで下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



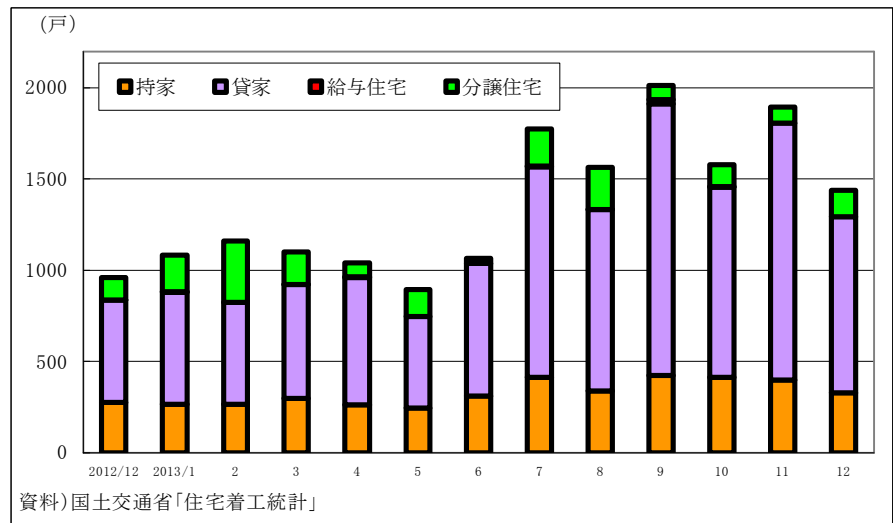
(注)セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は5.1%増加し、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より16.1%減少した一方、民間工事向け出荷は18.5%増加しました。セメントの出荷量は3.4%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(12月分) …着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2012/12	961	4.5
2013/1	1,083	9.1
2	1,162	62.5
3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0
5	893	△23.3
6	1,068	11.9
7	1,777	32.2
8	1,565	28.8
9	2,014	72.4
10	1,580	29.2
11	1,895	60.1
12	1,437	49.5

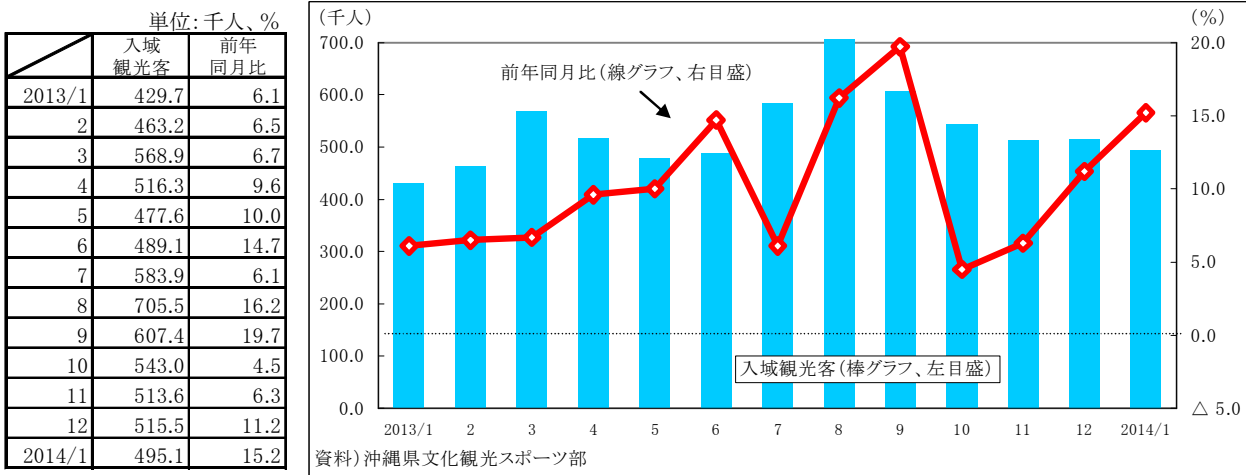


新設住宅着工戸数(12月)は、全体で1,437戸となり、ウェイトの高い「貸家(同71.7%増)」や「持家(同19.9%増)」などが全体を押し上げ、前年同月を49.5%上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…16ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

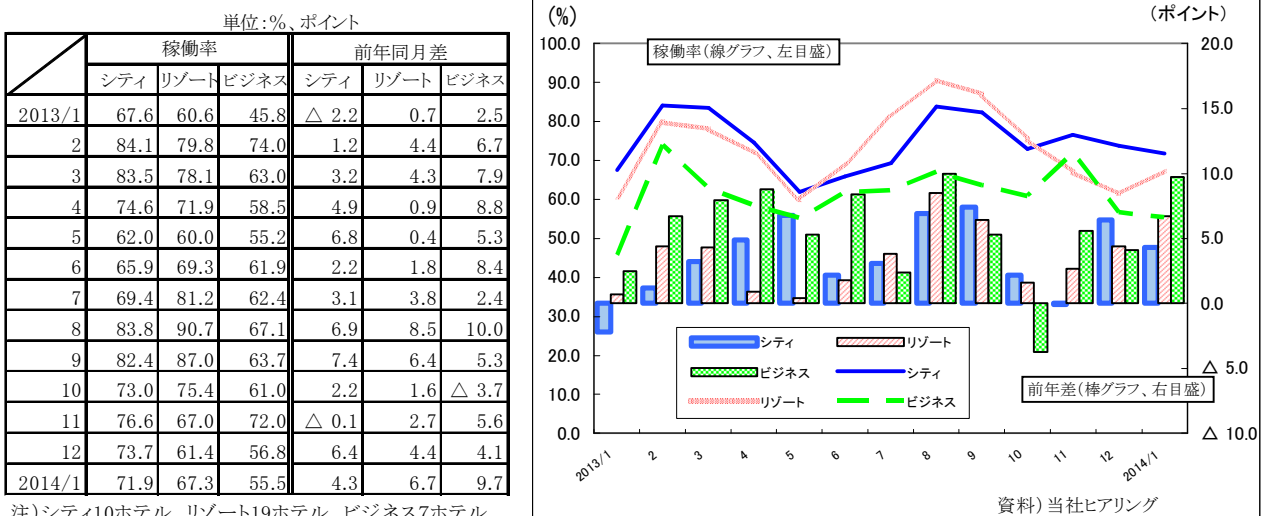
1月の入域観光客数は、65,400人多い495,100人(前年同月比15.2%増)となり、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。

内訳をみると、「国内客(同7.9%増)」はLCC就航や新石垣空港開港効果に加え、12月に続き年始年末の日並みの良さや航空旅客提供座席数の増加などから3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同208.3%増)」は、48,100人と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。「韓国(同89.9%増)」の旅行シーズンがピークを迎えたことに加え、春節時期の旅行需要、尖閣問題等で落ち込んだ前年の反動、中国本土からクルーズ船が4度寄港するなど、中華圏からの入込も大きく増加しました。「台湾(同173.2%増)」「中国本土(同約23倍/500人→11,500人)」「香港(同188.9%増)」

※ 特例上陸者を除く2014年1月実績=全体491,500人(同14.5%増)、外国客44,500人(同190.8%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

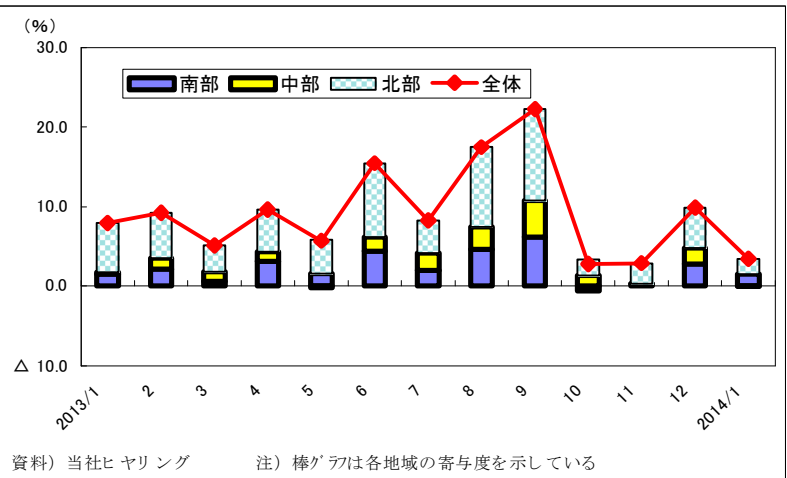
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが71.9%と4.3ポイント上昇(2ヵ月連続)、リゾートホテルが67.3%と6.7ポイント上昇(13ヵ月連続)、ビジネスホテルが55.5%と9.7ポイント上昇(3ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…15ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	3.9	△0.1	4.0



*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 3.4%増加 (15 ヶ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 3.9%増と 3 ヶ月連続、北部は同 4.0%増と 15 ヶ月連続で前年同月を上回りました。一方、中部は同 0.1%減と 8 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。

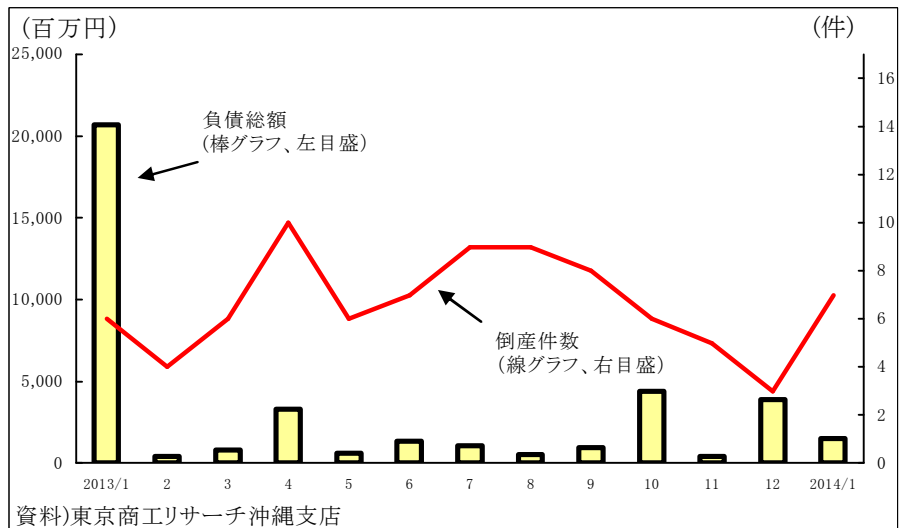


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月は上回り、負債総額は下回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2013/1	20,703	6
2	406	4
3	813	6
4	3,295	10
5	603	6
6	1,320	7
7	1,083	9
8	519	9
9	971	8
10	4,376	6
11	419	5
12	3,910	3
2014/1	1,492	7



1月の企業倒産件数は、7件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より16.7%上回りました。負債総額は14億9,200万円と92.8%下回りました。